

# 令和2年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ と思う ■ どちらかといえば、と思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

## ①豊かな心をはぐくむ教育の推進

<h3>1 一人一人の児童生徒の尊重</h3> <p>学校は、一人一人の子どもを大切にしたい指導や対応ができていますか。</p>	<h3>2 友達への思いやり</h3> <p>子どもは、友達と仲良くできていると思いますか。</p>	<h3>3 道徳・心の教育の充実</h3> <p>学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)</p>
<p>【学校から】○児童の4・3の割合が94%で高かった。ただ、残り6%の児童について配慮しなければならない。保護者は4・3の割合が79%であった。今年度はオンライン懇談会での情報発信につとめた成果であろう。保護者に取組を具体的に伝えられるようにオンラインの内容はさらに工夫していく必要がある。○児童の4・3の割合が97%と高い数値であった。保護者は学校に来る機会が少ない中でも4・3の割合が85%であった。子どもたちが学校の様子を伝えるなど家庭での様子から感じ取られたのではないかと。○道徳・心の教育を充実させることができているかについては、2の割合が21%と高い。これは教員がさらに道徳の授業を充実させたいという願いが表れたものだと考えられる。児童は、友達同士で仲良くできていると感じる割合が97%と高く、自己肯定感の高さを感じられる。</p>		

## ②確かな学力を育む教育の推進

<h3>4 意欲的な学習態度</h3> <p>子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。</p>	<h3>5 授業力向上</h3> <p>先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。</p>	<h3>6 ICT活用</h3> <p>先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。</p>
<p>【学校から】○コロナ禍で多くの行事が中止になった中、4と回答した児童は50%、3を含むと90%の児童が意欲的に取り組んでいると答えている。授業の工夫に一定の評価をつけている。ただ、児童の中には意欲的に取り組めていない面もあり、原因等を明らかにして改善を期待したい。○児童の回答では4が55%、3が38%、保護者の回答も3・4を合わせると83%となっている。しかし、1と回答した結果をみると、わかる、楽しい授業にするための改善を明らかにする必要がある。○児童では90%、保護者では80%が3または4と回答している。本年度は校内研修でもICT機器の活用に取り組んだ為、各クラスでの活用は大きく進んでいる。個別最適化と協働学習の両面での活用をすすめていくべく研修の充実を図りたい。</p>		

## ③健やかな体を育む教育の推進

### 7 健康づくり

子どもは、好き嫌いをなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。

【学校から】○適度な運動と十分な睡眠に関しては、休校があったり公園などに行きにくい状況があったりと今年度は特に難しかったのではないかとと思われる。体育部を中心にオンラインで家庭でできる体操を発信したり、定期的に体育だよりを発行することで健康管理について意識の向上を図った。○全体的には、集会活動・縦割り活動などに制限があり、委員会の活動も例年通りとはいかない中で、十分な取り組みができず、数値があまり上がらなかったのではないかとと思われる。

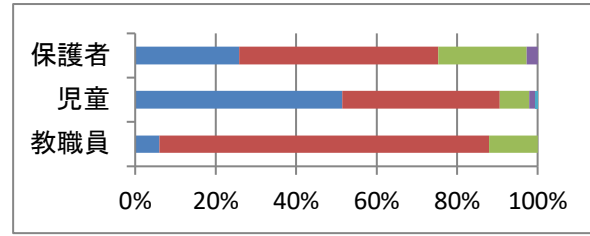
<h2 style="text-align: center;">①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実</h2> <h3>8 児童生徒理解</h3> <p>先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。</p>	<h2 style="text-align: center;">②特別支援教育の推進</h2> <h3>9 いじめや問題への対応</h3> <p>学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。</p>
<h3>10 学校の支援体制</h3> <p>学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。</p>	
<p>【学校から】○4・3の割合が教職員90%、児童、保護者とも80%以上である。心のアンケート、きずなアンケートの実施と日常の取組は行ってきている。しかし、保護者の2・1の割合が18%ある。その様子を伝えていく方法は工夫が必要だと考える。○4・3の割合が教職員、児童ともに90%以上である。いじめや問題に対する迅速な対応と管理職への報告・連絡・相談を行い、組織として取り組んできた。ただ保護者にはその取組が十分に伝えられているとは言えず、面談やオンライン懇談会で伝えていく必要がある。○支援が必要な児童には主幹や管理職、学級支援員に加えて学習指導員も1・2学期で800時間、各クラスに入って個別指導を実施した。情報を共有し、早期に取り組んでいく。</p>	

<h2 style="text-align: center;">①子どもたちの身近な安全対策の充実</h2> <h3>11 安全と事故防止</h3> <p>学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。</p>	<h2 style="text-align: center;">②最適な学習環境の整備</h2> <h3>12 施設・設備の安全管理</h3> <p>学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。</p>
<p>【学校から】○安全部、生徒指導部を中心に昼休みの見回り、廊下歩行の指導などによく取り組んだ。学校主事による室内の突起物の除去等、迅速な修理を実施した。例えば、けがが起きた花壇では、カバーをつけるなど対応を早く行った。情報について保護者へ伝える工夫は必要であろう。</p> <p>【学校から】○老朽化した施設の点検・整備に努めた。雨漏り防止の工事、体育館渡り廊下の改修を教育委員会と連携して進めた。学校主事は、樹木の伐採や体育倉庫内の改修など多方面で取り組んでいる。これらの情報提供についてはこまめに行う必要がある。</p>	

### ③家庭・地域社会との連携強化

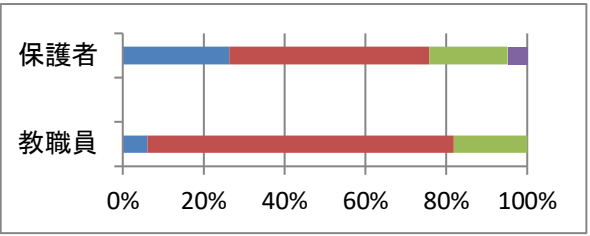
#### 13 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。



#### 14 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

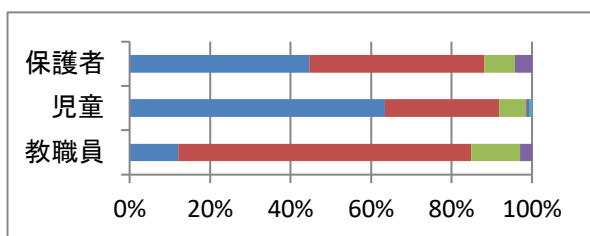


【学校から】【教育方針・目標の理解】年度初めに休校期間があり、始業式や入学式、PTA総会などの行事が縮小されたり中止になったりした。そんな中でも、学校だよりの配付、メールでの発信、ZOOMでの懇談会時に校長からのメッセージビデオを全クラスで流した。ただ、その時期や内容などを予め余裕を持って伝えることが難しかったのも一因である。【家庭や地域との連携協力】コロナ禍で保護者や地域の方に来校していただく機会がほとんど無かったが、児童の登下校の見守りについて、おばパト隊、交通安全協会、PTAボランティアなどの支援があり、大きな事故、けがが起こらなかった。

### ⑧本校の教育

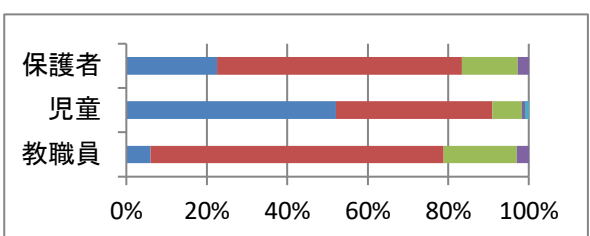
#### 15 1笑顔で活力ある子ども

あなたは、笑顔で活力ある子どもの育成に努めていると思いますか。



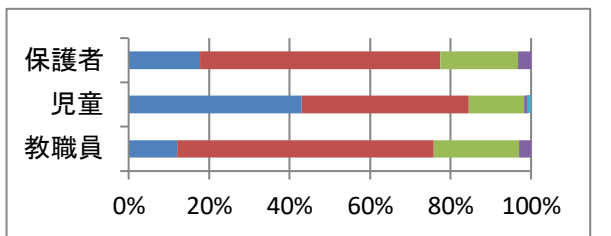
#### 16 2学び合い

あなたは、ペア学習や協働学習の中で、友達の考えや感じ方を大切にしていると思いますか。



#### 17 3主体的・対話的な授業

あなたは、主体的・対話的に授業に取り組んでいると思いますか。



【学校から】〇4・3の割合がともに約90%であるが、児童では1・2の割合が8%であることに目を向けていく必要がある。子どもたちが活力あるくらしを送ることができるよう特別活動の充実を工夫していきたい。児童一人一人に寄り添い、達成感や充実感を味わうことができるような取り組みをさらに考えていく必要がある。児童・教職員ともに3・4の割合が80%近くである。しかし、15~20%の児童と教職員が不十分だと回答している。授業は対話的であるが、主体的に取り組んだと自己評価することができなかったのではないかと。子どもたちが主体的な姿を実感できる授業づくりに向けてさらに全職員で取り組む必要がある。

### 来年度の具体的な取り組みについて

- 日頃からの児童との会話、定期的なアンケート、子どもと向き合う週間等の実施。（児童一人一人にしっかりと向き合い、児童のわずかな変化に気づき、早期に対応する。）
- 特別活動による仲間づくりの推進。（児童の自主性を育み、思いやりの心を育てる。）
- 体育、保健、給食などの委員会活動の活性化。（授業、学校保健委員会を工夫し、委員会の児童の主体性を生かした取り組みをすすめる。）
- 授業での学びを自分自身でもやってみようという発展的な学びになるような授業づくりと対話的な授業の実現。（プロジェクト学習や協働的な学習をすすめる。そのためにカリキュラムマネジメントを全学年で取り組む。）
- タブレットの活用を推進。（①教職員の情報共有②個別学習での活用③協働学習による活用④特別支援教育での活用など校内研での研修を充実する。）
- 人権学習、人権集会や平和集会など学年での取り組みの共有。（校内掲示板の工夫や保護者に報道していく取組を行う。）
- 道徳の指導力向上の研修、授業研、公開授業の実施。（継続的に取組み、意識化を図るために心のパズルを導入する。）
- 安全について避難訓練を計画訓練、予告なし訓練の実施。生徒指導の輪番制による講話、委員会の取組の活性化。安全な施設の維持および安全点検の実施。（全職員からの気づき、ヒヤリハットの共有を通して、安全な施設の維持に努める。）

### 学校関係者評価

【本年度の学校の取り組み】○コロナ禍で逆境の中、出来る限りの学校生活の充実や教育に取り組まれていると感じました。自己評価、関係者評価の結果から強みや課題を明確にされ、今後の取組に活かされていくことがわかりました。○新型コロナウイルス感染症流行のため、ご苦労の多い一年だったと思います。物理的に距離の離れてしまう子どもたちに寄り添い、安心させ、その上で学習を進め、教育効果をあげるために、工夫、努力を重ねられたことがわかりました。タブレットの活用が進み、試行錯誤のなかで色々な可能性が見えてきたのは、一つ、明るい未来につながるものだと思います。先生方は本当に大変な思いをされていることと思います。感謝申し上げます。

【地域での様子】○登下校で児童に会う機会が少ないですが、近くの公園で遊んでいる姿を見てこちらから挨拶をすると返してくれます。○こちらから声をかければ、ほとんどみんな気持ちよく挨拶を返してくれます。知らない人にあまり愛想よくすると心配ですので、ちょうどいい程度だと思います。○地域の方が横断歩道のところに交通安全の見守りでいて下さるので、子どもたちもルールを守っているようです。○ボタン式信号も守り、道に広がることもなく、立派な態度で登下校していると思います。○広くない公園で野球をしているのが気になります。こちらにボールが飛んできて、怪我をしないか心配しています。○友人同士で話しながら楽しそうに歩いているところぐらいしか見かけません。何も問題ないと思います。○地域行事もなくなる事が多く、児童館なども使えず、あまり子どもたちを見かけません。子どもも大人も、お互いに寂しい感じがします。早く子どもたちが心配せずに遊び回れるようになるといいですね。

【その他】○Zoomのオンライン会議、初めてでしたが、繋がりが感じながらできて、参加して良かったと思います。○ホームページでの動画配信などで、保護者や地域の方に情報公開され、学校の取り組みを積極的に広められていることは学校を拠点として地域づくりにも良いことだと思いました。○学校の様子をお聞きでき、児童から直接お話を聞くこともでき、大変有意義でした。